



ジュビロ磐田

磐田市健幸プロジェクト「ジュビロ飯」 1/2

食とスポーツによる地域の健康向上と経済活性化を図る活動。食においては地元の特産品を使用し、一定の栄養価基準をクリアできたメニューに対し行政が「ジュビロ飯」と認定。和洋中問わず磐田市内飲食店、学校学食に幅広く展開。同時に運動習慣定着のため短時間でできる筋力体操を考案。食×スポーツ=健康を産学官連携で展開。



活動場所 磐田市内飲食店、磐田市内2大学食堂、ヤマハスタジアム、磐田グランドホテル



協働者

企業、住民、学校、行政

協働者名

磐田市、磐田商工会議所、静岡農林環境専門職大学、静岡産業大学



協働者の声 磐田市役所 産業政策課／齋藤 研二 氏

市として産学官連携による事業化は初めての試みであり、市民の健幸生活の向上や地域の経済活性化目的に進めてきました。「ジュビロ磐田」との連携で注目を浴び、事業支援としても明るい話題を提供できた事と、事業のスタートが切れた事を非常に嬉しく思います。コロナ禍において特に飲食業界は苦しい時期が続いている中、試合日にこのジュビロ飯を販売できたことは感謝しかありません。販売をした磐田グランドホテル様からも「当日は完売でたくさんの方に知ってもらえる良い機会となった。第2弾もレシピ開発していきたい！」と感謝の声を頂きました。今後は市内の食環境整備を進めていき、市民の健幸生活の向上だけでなく、地域として幅広く活気づく事業に展開していけるよう引き続きジュビロ磐田との連携強化を期待したいです。



活動詳細情報

1

[朝日新聞記事](#)

2

[磐田市HP](#)



カテゴリ(SDGs)／取り組みテーマ





ジュビロ磐田

磐田市健幸プロジェクト「ジュビロ飯」 2/2

Story

予てより磐田市の課題の一つとして市民の健康増進が挙げられていました。磐田市とクラブは話し合いを重ねながら、大型商業施設などでのPR活動等少しずつ前進をしまいましたがインパクトに欠けるところがありました。

令和2年秋に産業振興フェアをきっかけに「健幸プロジェクト」が発足されました。食とスポーツによる市民の健康向上と地域の経済活性化を図る目的として市内の2大学、商工会議所、地域企業の産学官の連携が始まりました。この活動においては市役所内の複数の部署も連携することで行政内の縦だけの動きから横への連動も実現。



検討を重ねた結果プロジェクトの一環として「ジュビロ飯」がスタート。

ジュビロ飯とは地元の食材を使用、定められた栄養バランスに適度な運動(体操)を合わせた楽しみを指します。

このジュビロ飯を市内飲食店で募集を始めました。定めた内容をクリアできれば和洋中どのカテゴリーでもジュビロ飯が磐田市内の飲食店で食べることができるようになります。

ジュビロ飯第1号として認定された磐田グランドホテル様考案の「かつ丼」がヤマハスタジアムで販売され即完売。購入されたサポーターの皆様もその場で簡単な運動をしてくださいました。

すでに市内飲食店数店舗から要望があり、更なる発展を期待しています。

また、今後は市内小学校の給食メニューにもジュビロ飯が展開できるよう進めていきます。

